

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
1	1.見直し全般について	学区変更反対。理由として当該学区の不動産価値の変動があげられるため。
2	1.見直し全般について	「地域の方」の意見はあくまで参考として聞くにとどめ、当事者の意見に基づいて意思決定すべきである。
3	1.見直し全般について	（移行措置決定後）通学区域の変更を検討する際には、オンライン投票など当事者が利用しやすい仕組みを整備し、可能な限り当事者の意見を収集した上で意思決定すべきである。
4	1.見直し全般について	学区変更反対。混雑を嫌だと思う人が別の学区へ行けるよう選択制を取れば良い。または引っ越しをしたらどうか。
5	1.見直し全般について	学区変更反対。学区選択制希望
6	1.見直し全般について	学区変更反対。混雑区でもその小学校に通わせたい人はいると思うので学区選択制を取るべき。嫌な方は引越しか私立に通わせるのではないか。
7	1.見直し全般について	花園小学校は人数も少なく、環境が良くない。また、四谷小学校に比べて暗いイメージがある。コロナ渦により、都外転出も多く、花園小学校に関しては、そのままよい。
8	1.見直し全般について	小学校により、あまりにも児童数が違いすぎるのは、子供同士のふれあい、教師の監督などからみて、望ましくないので、見直しには賛成。四谷四丁目・愛住町・荒木町を距離的に四谷小学校よりも近接している小学校（花園・富久・あるいは牛込仲之）に振り分けるだけでも児童数は軽減される。
9	1.見直し全般について	四谷小学校の児童数の減少や花園小学校の児童数を増加させることが目的化されている印象を受ける。今回の四谷小学校の校舎増改築の件をみても、対応が後手に回っており子供達の教育環境への影響を考慮して施策を打っているように思えない。数合わせや地域からの政治的な声でなく、子供達の教育環境を充実させることを第一に考えて施策を検討してほしい。
10	1.見直し全般について	「現在の小学生・未来の小学生の為に何をしたら良いか」という視点で決めて欲しい。
11	1.見直し全般について	通学区域変更反対。混雑区で問題があると感じるご家庭が他の閑散区に越境すれば良い。四谷小学校の場合、防災性が高く（築年数が浅い）、設備も新しい学校での生活の方が通う子供も安心安全、快適である。混雑区でも通わせたいという人もいる。生徒数が増えても学力、学校生活において問題がない。不動産価値低減を防止することにもつながる。通学区域を考慮して不動産を購入している人もいる。
12	1.見直し全般について	短期的には、混雑区に学区選択制を導入する。中長期的には、大規模マンション建築時（事前協議時）に教育委員会との協議をマスト（条例化）する。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
13	1.見直し全般について	現在、四谷小学校は工事で校庭も使えず、放課後子どもひろばも狭い部屋に80人近く集まって過ごしている。保健センターに移動する手間もあり、子ども達にとって狭くて遊びづらい。運動会などイベントなども制限され、小学生らしい時間が過ごせていない。早めの対策をしてほしい。
14	1.見直し全般について	四谷小学校の通学区域に絞って転居先を探しているご家庭ばかり。今児童数が増えているからと言って通学区域を絞ってしまうのは抵抗があり、反対
15	1.見直し全般について	通学区域の変更について、新宿御苑前に大きなマンションが建設中なので、そこから花園小学校に通う家庭もあるのではないかと思う。その子どもの数などの様子を見てからの変更でもよいのかと思う。
16	1.見直し全般について	通学区域の見直しをした際、結果に強制力を持たせるべき。そうしないと、過密状態は解消されない。
17	1.見直し全般について	四谷坂町は『祭』・『催物』・『利用する公的施設』・『防災意識』・『所属意識』・『地域活動』・『公立学校・幼稚園・保育園』等について靖国通り以北とは異なる文化圏となっている。通学区域の見直しをした場合、『学校』のみが異なる文化圏・地域となってしまう、四谷坂町の子供達は『疎外感』『いじめ』『学校の友人の文化圏に合わせる為に行動範囲の強制遠方化』等の影響を受ける。
18	1.見直し全般について	防災の目線でも文化圏の分断が起これば現在不足している消防団員の確保や活動、地域での声の掛け合い、緊急時の協力体制等の構築が難しくなる。又、一時避難場所は町会単位で設定されている点でも通学区域の分断はマイナスに働く。
19	1.見直し全般について	『公立の学校』と『地域』と『選挙』の結びつきは強い。学校のみ異なる文化圏にされてしまった場合、四谷坂町に住む我々は『学校の事』は通っている学校の文化圏の議員（住まいとは異なる文化圏の議員）を応援して、『地域の事』は自分の文化圏の議員を応援しなければならない。しかし、投票出来るのは1票だけである。四谷坂町の『四谷小学校に行けなかった者とその家族』はマイノリティーになってしまう。区議会議員の候補者としても、自身の仮想選挙区（活動地域）を一部失う事になる。
20	1.見直し全般について	今後四谷坂町に住み続ける人々はいずれは、四谷小学校の通学区域ではなくなってしまうのでしょうか。四谷坂町は四谷小学校の通学区域である必要がある。
21	1.見直し全般について	現状通っている子供たちが困っている状況（トイレに行けずおもらしなど）であるため、子供たちの環境を第一に考え、有効な策を早急にとってほしい。また、現在の工夫（休み時間のずらし、二日間の運動会、自由に校庭が使えず指定している）が不要になり、通常の小学校らしい生活を送れるようにしてほしい。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
22	1.見直し全般について	町のお祭り等でしぼる意味、必要性は保護者として全く感じない。子どもたちの日々の生活を一番に考えてほしい。
23	1.見直し全般について	緩和策も通学区域の対応も早急に検討し、対応が必要。四谷小学校の校舎増築がされるとしても、校庭や図書室の利用時の混雑、クラス人数が多くなることにより先生が目が届きにくくなり望ましいことではない。
24	1.見直し全般について	通学区域を変えることは反対という意見や、三校統合時の約束事に「通学区域は守られる」という話があったなどの反対意見もあるが、このような意見は全く建設的ではなく、児童の為にではなくただ私情である。
25	1.見直し全般について	通学区域変更の件は、1年2年と長々と話し合うのではなく、早急に変更の決断をする必要がある。
26	1.見直し全般について	四谷小学校がこんなに増える事が予想されるのであれば通学区域を変えるしかない。早急に。多少遠くても我慢してもらいたい。
27	1.見直し全般について	四谷小学校の通学区域の方で花園小学校に行きたい人を募るのが良い。
28	1.見直し全般について	教育環境の維持または向上を目指すべきで、指標上曖昧な地域とのつながりやこれまでの慣例は考慮に入れない方が良い。
29	1.見直し全般について	活動に支障が出るクラス数や校庭の減少は、教育上の大きな支障だと考えるため、早急に対処してほしい。
30	1.見直し全般について	四谷小学校の校庭は在校生の人数に対して小さい。現在も毎日校庭で遊ぶことができず、休み時間の校庭利用日が輪番制で決められている。雨の日の体育はできなくなってしまい運動不足も懸念される。そのため通学区域の見直しに賛成
31	1.見直し全般について	委員会役員や担当各位などによる一部に偏った意見や方針で決定せず、皆が納得できるような、不正行為のない議事進行を希望する。
32	1.見直し全般について	教室を増やすことは全く解決にならないので、2年後ではなくもっと早く通学区域の見直しをすべき。
33	1.見直し全般について	四谷小学校への通学を見据えて保活をし、四谷子ども園に入れたので、通学区域変更はしないでほしい。
34	1.見直し全般について	通学区域の変更はやったほうが良い。住所によっては四谷小学校より花園小学校のほうが安全に通えることもある。 また、生徒が増えすぎると一人一人のケアがより一層難しくなると思うので、その点が不安である。子供達が健やかに通学できることを優先して考えてほしい。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
35	1.見直し全般について	四谷地区の子供が増加した事は、開発業者の都合であり、子供人口の需要が外れた等の話は問題では無い。通学区域の変更が必要であれば実施すべき。
36	1.見直し全般について	教育行政だけの縦割りでその場しのぎの数合わせで振り回されるのは許されない。
37	1.見直し全般について	主張したいのは長期的な計画もなく行政が一方的に決めてしまうことである。
38	1.見直し全般について	通学区域によって人生が変わってしまう。
39	1.見直し全般について	現実問題として通学区域変更は一時的には仕方ないとも思う。
40	1.見直し全般について	検討協議会での意見「いろいろなしがらみは捨てて、どうしたら児童のためになるかを中心に考えたい。」のとおり検討してほしい。
41	1.見直し全般について	花園小学校と四谷小学校のバランスを考えるには時間をかけても仕方がない。見直しは早い方がいい。
42	1.見直し全般について	通学区域の見直し検討にあたっては、まず、四谷小学校で不安を感じている児童（保護者）に越境を提案するなど、四谷小学校内での解決を図る方向性もあると思う。
43	1.見直し全般について	各通学区域の居住者全員が当事者であることは事実であるが、受入校は内野、見直し地域外の保護者は外野であり、地域のシニアはさらに外野である。
44	1.見直し全般について	通学区域変更が急すぎる。私立受験や引越しまでの時間がない。
45	1.見直し全般について	四谷四丁目近くには四谷第四小学校があったのに三校統合で四谷小学校になり、今度は通学区域変更で花園小学校になる可能性があり、四谷四丁目だけ切り捨てられている。
46	1.見直し全般について	今回急いで通学区域の変更をやっても令和7年の1学期に四谷小学校の普通学級不足が解決されるものではない。
47	1.見直し全般について	花園小学校の子供が少ないことよりも四谷小学校のトイレが少ない、子供の遊ぶスペースが足りない、といったことの方がよっぽど切実な問題であると感じる。一度に両方解決しようとするのではなく、優先順位を決めた方がいい。
48	1.見直し全般について	通学区域変更により、子どもが友達と離れたりすること、新しい変化について心配されている声があるが、子どもはたいていの変化には対応できる力がある。大人の方が変化に伴い嫌っている印象があり、子どものためにたてにして意見を言っているのではないかと思う。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
49	1.見直し全般 について	祭りなんて来れる子達をみんな呼ぶくらいの度量のない人間の意見が大きくなることを避けたい。
50	1.見直し全般 について	四谷小学校の教室不足により図書室も小さく、移動教室の楽しみもなく、グラウンドも狭いことが改善するのであればしっかりと改善できるよう動いてもらいたい。
51	1.見直し全般 について	四谷小学校の増築で解決しておさまるなら、それに越したことはないと思う。
52	1.見直し全般 について	愛住町と四谷四丁目に関してのみ、選択可能区域にしてほしい（四谷小学校、花園小学校、富久小学校）。増築によって今後の様子を見て、それでも四谷小学校が大変な状況だったとしたら、第2段階として、通学区域の選択可能区域を増やすこと等も検討していくべき。
53	1.見直し全般 について	親は皆、子どもの最善を考えるとと思う。人数が少ない方がいい子もいれば、多い方がいい子もいて、何人が適正なのかは正解がない。あくまで選べる状況を可能な範囲で作るのが1番と考える。
54	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	現在の通学区域（四谷第六小学校）では至近の四谷小学校に通えないので見直してほしい。
55	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	大きな道路を1回でも2回でも渡らずに済むことは大いに意義がある。少なくとも検証資料8（四谷四丁目「外苑西通りから西側」を花園小学校へ変更）、できれば検証資料7（四谷四丁目+富久町8番・9番を花園小学校へ変更）は実現できるといい。
56	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	四谷小学校の児童減少・通学距離の短縮・花園小学校の児童増加をすべて満たす条件を採用すべき。中学校の通学区域との不一致等、デメリットが発生する通学区域の見直しは実施すべきでない。
57	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	余裕がある花園小学校へ呼び込むことを優先すべき。
58	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	四谷小学校はあまりに狭く、子どもの適切な成長が妨げられている。一刻も早く通学区域の見直しを行い、特に外苑東通りの向こうからを学区から除外すべき。
59	2.検証資料・ 通学区域の分 け方について	新宿5丁目地域は目の前が新宿6丁目、ほとんど同じ地域なのに、四谷地区に含めるのをやめてほしい。小学校も中学校も遠過ぎる。目の前にある学校になぜ通りを挟んだだけで行けないのか、せめて靖国通りなど大きな通りで分けてほしい。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
60	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	四谷小学校の児童過多・花園小学校の過小については大きな課題で「何となく四谷小学校がいい」という人の入学を減らして、花園小学校へ流す必要がある。
61	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	緩和策を取って結局、四谷小学校希望者が減らないことが目に見えているので、広く他校のエリアとした方が良い。
62	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	四谷四丁目、富久町8番・9番を花園小学校へ通学区域を変更することも、学級数を20以下におさえることも強く希望する。
63	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	通学距離が長くならないなら、花園小学校に通う通学区域を増やすと良い。
64	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	選択ができるような策が好ましいと思う反面、四谷四丁目（とくに外苑西から西）の人達は圧倒的に花園小学校が近いので、検証資料8（四谷四丁目「外苑西通りから西側」を花園小学校へ変更）を反対する人達は少ないのではと思う。外苑西と新宿通りを渡ることになるため、安全面からも外苑西から西側の児童は花園小学校へ通う方がいいと思う。
65	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	四谷四丁目を花園小学校の通学区域に変更するのは良い案である。
66	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	検証資料8（四谷四丁目「外苑西通りから西側」を花園小学校へ変更）が一番良い。検証資料1～4の牛込仲之小学校や富久小学校は神社氏子をはじめ警察や消防の管轄も変わってくる。検証資料6～7の富久町8番・9番も富久小学校の方が近い。子供にとってどこの町会だからどこの小学校とかは関係なく、一番近い学校に行くのが一番
67	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	通学距離や通学路の視点で考えると検証資料7（四谷四丁目+富久町8番・9番を花園小学校へ変更）、検証資料8（四谷四丁目「外苑西通りから西側」を花園小学校へ変更）の案は妥当。2クラス程度を維持する場合、検証資料7が妥当。
68	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	四谷小学校ではトイレの混雑で休み中に用を足せない心配や先生目が行き届かない懸念があるため、できれば通学区域を縮小して生徒が少ない小学校にも増やせるよう調整してほしい。
69	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	四谷ひろばの復活が難しい場合は、通学区域を見直して外苑東通り以西を富久小学校、花園小学校に振り分けるのが良い。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
70	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	登下校の距離が長くなると、事件事故に合うリスクが高まってしまうため、通学区域の変更により、現状よりも距離が遠い小学校に通うことがないようにしてほしい。
71	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	花園小学校や四谷第六小学校の通学区域を広げるべき。四谷小学校の通学区域が広すぎる。
72	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	通学距離が長くなるような変更は反対である。
73	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	効果を確実に出すために、検証資料6（四谷四丁目+富久町8番・9番+愛住町を花園小学校へ変更する）くらい、広く通学区域を見直すのが良いと考えている。そもそも通学区域に興味のない人もいる。通学区域が変われば、受け身でそのまま指定された学校に行く人も多いと思う。
74	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	花園小の児童数を増やすことを軸に考えていけばよい。
75	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	検証資料で色々検証しているように見えるが結局これまで検証していてもこのような状態になっているのでどこまで信頼できるかわからない。
76	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	富久町8番に引越し予定だが通学区域が変更になった場合、花園小学校より富久小学校の方が近く、且つ安全に通学できそうだと思う。
77	2.検証資料・ 通学区域の分け方について	今後、花園小学校に急激な児童数増加が起こった時に、現在の花園小学校の素晴らしさ（児童数が少ない分、教員や職員が大体の児童の顔を把握していること、地域全体で見守っていること）が失われないか不安に思う。四谷小学校の児童数を減らすために、花園小学校に人を増やさないでほしい。
78	3.緩和策について	混雑学区に関しては学区選択制を取り選択権を与えた方がよい。
79	3.緩和策について	決定後3年程度は変更前の通学区域の小学校に子どもが入学することを無条件で認めるなどの移行措置を検討してほしい。
80	3.緩和策について	当面の措置として（既に通学している子供への影響も考えて）小学校を旧新の通学区域から選択できるようにする案には賛成である。
81	3.緩和策について	通学区域変更の対象となる区域に在住する未就学児は、学校の選択をできるようにしてほしい。また、兄弟が四谷小学校に在籍している場合や兄弟が卒業生である場合も四谷小学校への通学を選択できるようにしてほしい。中学校との通学区域の不一致が発生してしまう場合、希望する中学校への通学を選択できるようにしてほしい。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
82	3.緩和策について	通学区域の見直しではなく、大幅な緩和を実現することとし、具体的には、四谷4丁目においては、近隣の各区立小学校（四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校、富久小学校）を自由に選択できるようにすべきである。四谷小学校までは、かなり距離があり、車の交通量が非常に多いため子どもには危険
83	3.緩和策について	花園小学校の児童減少もあるため、選択できる学区域を作るのは良い案だと感じる。通学のしやすさなど距離的な問題や、少人数の行き届いた教育環境を求める人には花園小学校も選べるようにすることで、児童の数が分散する。
84	3.緩和策について	なるべく人通りの多く、親子共に安全だと思えるルートで通える小学校を選びたいため、四谷坂町の子どもは四谷小学校を継続して利用、選択したい。他自治体事例の緩和策を必ず実施してほしい。
85	3.緩和策について	〇〇小学校に入学したくて引越してきた家庭もあるので、しばらくは移行期間としてどちらの小学校にも通学できるようにしてほしい。もしくは、他の小学校からも選べるようにしてほしい。
86	3.緩和策について	通学区域の見直しが決定した場合、いつまで越境入学が可能なのでしょう。見直しがあったとしても、越境緩和をつけた期間限定の見直しに留めて欲しい。その間、諦めずに強力に土地や部屋を確保する対策を推し進めてほしい。
87	3.緩和策について	可能であれば、経過措置を長くとってもらい、通学区域外でも選択できると有難い。
88	3.緩和策について	柔軟に小学校を選択できるようにしてほしい。緩和策に賛成だが特別な書類等が増えることは望まない。
89	3.緩和策について	四谷小学校に通学させるつもりで現住所に住んでいる。通学区域が変更になった場合は、勧奨にとどめ、選択の権利があるようにしてほしい。また兄弟間で別々の学校になることを避けるために、数年にわたり同じ措置をしてほしい。
90	3.緩和策について	「該当区域に在住する未就学児は、期間を設けて学校の選択をできるようにする」、「該当区域に在住する在校生は卒業まで四谷小学校に通学できるようにする」という対応策を執行してほしい。
91	3.緩和策について	当面、四谷小学校と花園小学校のどちらへ入学するか選択制とすることが必須
92	3.緩和策について	意見募集の説明資料14ページの他自治体事例の緩和策（通学区域の変更等に伴い、変更した地域にお住まいの対象者は、変更前の通学区域の学校も希望により選択可能とする、経過措置期間を当面とする）を強く要望する。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
93	3.緩和策について	通学区域変更賛成。通学区域変更後の猶予期間も長いとせっかく実行しても中身が伴う効果が期待できなくなるため、できるだけ短めにしても良いと思う。
94	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校活性化の施策（コア教員の配置、近隣の整備「校庭に花壇、ベランダにプランター、屋上も緑化」「フェンスからネットに変更」、四谷地区住民全体による花園小学校支援「地域主導で行政と連携して、定期・不定期問わずイベント開催などで小学校や周辺地域を盛り上げる。地区在住・在勤者を中心にその道のプロを招いて、子供達の体験学習の場を増やす」）を検討する。
95	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校の教育レベルUP、セキュリティUP、放課後の学童（子どもひろば）のサービスUP、など、花園小学校の入学数を増やす取り組みをしてほしい。
96	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校のセキュリティ面が立地面でも不安
97	4.環境整備・魅力向上について	生徒増ないしは教育に対して先進プログラムを導入する等、根本的な生徒数増加に対しての打ち手も考えてほしい。
98	4.環境整備・魅力向上について	教育の質を重視してほしい。教職員の方々の処遇に対して手厚く対価を求めたい。
99	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校の入学の抵抗感を低減させる対応策として、小学校名を変更し、ブランド付与するのはどうか。「四谷西小学校」、「御苑前小学校」など。
100	4.環境整備・魅力向上について	四谷小学校の子供たちがもっとのびのび遊べると良い。
101	4.環境整備・魅力向上について	学童など子どもたちの教育環境の整備をしてほしい。
102	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校を四谷花園小学校へ改名するのはどうか。
103	4.環境整備・魅力向上について	安全性の向上や学校内学童、民間企業との連携による放課後の学校施設を使ったクラブ活動など学校の魅力向上に関する事業が増えることは歓迎する。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
104	4.環境整備・魅力向上について	通学区域の変更に加えて、花園小学校に行きたいと思えるような校庭のセキュリティや校内学童の併設、新しい教育カリキュラムや行事を取り入れるなど工夫をしてほしい。
105	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校のセキュリティについて、昨今のダイバーシティにさからったイメージのみで蔑む意見にはとても不快に感じる。
106	5.周知・説明について	まだこの件を知らない対象の住民に対してもっと周知するべき。
107	5.周知・説明について	人数の少ない小学校の方の意見にも耳を傾けて欲しい。
108	5.周知・説明について	本件は財産権にも大きく関わるため、約300世帯ある当マンション理事会（1/25実施予定）でも十分に審議したく、その他大規模マンション、住民にも周知するべきだと考え、パブリックコメント回答期限延期を希望する。
109	5.周知・説明について	当事者を保護者と限定している点に疑念がある。地域住民、新宿区民全域の居住者が対象ではないか。
110	5.周知・説明について	行政と不動産会社の新築マンション建設の事前協議をして欲しい。
111	5.周知・説明について	令和7年度実施では猶予（周知）期間が短すぎる。
112	5.周知・説明について	マンション販売会社から「四谷小学校区」と明確に説明され、資料もそのように記載されていた。その直後にこの話（通学区域の見直し）が出てくるのは違和感がある。この検討があるのであれば、建設許可の申請や承認の段階で、その旨をデベロッパーや販売会社に伝えられたのではないか。区の課題は理解するが、「後出しじゃんけん」のような進め方は避けてほしい。
113	5.周知・説明について	町内会の方の意見が大きく、実際に通う子や親の意見をもっと積極的に聞いてほしい。
114	5.周知・説明について	通学区域の見直しで一番影響を受ける地域（片町・四谷坂町・四谷四丁目、富久町8番・9番・愛住町）の児童保護者の意向はどうか。現案の選択的学区の見直しは、変更希望者0の可能性すらあると思う。まずは見直し地域の幼児（保護者）・母子手帳保持者・新築マンション購入者など「真の当事者」へ通学区域見直しに関するメリット・デメリットを細かく提示して意向を確認するべき。
115	6.四谷ひろば等の活用について	内容が薄く、展示はレプリカばかりで存在意義が分からない新宿歴史博物館を四谷小学校の分校、もしくは児童館（子どもひろば）として利用するべきである。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
116	6.四谷ひろば等の活用について	新宿歴史博物館を四谷小学校の学習施設として利用する。たとえば、3年生は新宿歴史博物館で授業をする。過去に近くの特別支援学校が3年生用の教室として使われていた。新宿歴史博物館については抜本的に機能を見直し、学童施設として再利用すること。
117	6.四谷ひろば等の活用について	四谷第四小学校の復旧をする等、応急的ではなく根本的な対策を取ってほしい。
118	6.四谷ひろば等の活用について	東京おもちゃ美術館を学校として復活させ、四谷消防署以西の地域の子どもの受け皿としてほしい。
119	6.四谷ひろば等の活用について	四谷第四小学校を復活させるのが良い。建物もそのまま残っており、四谷四丁目、富久町8番・9番、愛住町等も一手に引受けることができる。
120	6.四谷ひろば等の活用について	四谷第四小学校を復活させてほしい。。既存の建物を使用すれば、修理費以外費用がかかることがないと予想される。
121	6.四谷ひろば等の活用について	小学校の枠組みが残っているのだから、東京おもちゃ美術館を小学校に戻して、四谷小学校の通学区域を減らしてほしい。
122	6.四谷ひろば等の活用について	東京おもちゃ美術館は入場料も高い上に展示内容も貧弱。四谷小学校の現状を踏まえ、東京おもちゃ美術館を小学校として再利用し、当該地域の子どもの小学校とすることを希望する。
123	6.四谷ひろば等の活用について	東京おもちゃ美術館の建物を小学校に復帰させるのが良い。
124	6.四谷ひろば等の活用について	東京おもちゃ美術館を小学校として戻すこと。内容もつまらないし、存在意味が分からない施設
125	6.四谷ひろば等の活用について	四谷ひろば周辺は、敷地も広く、通学路も適度に狭く、大型車両もスピードが出ないため、教育施設用地として最適である。再開校を望む。
126	7.通学時の安全面について	徒歩20分近くかかる通学区域の小学校は、集団登下校のみならずスクールバスなどを検討した方がよい。
127	7.通学時の安全面について	通学距離・通学時間の平準化をしてほしい。
128	7.通学時の安全面について	今の通学区域は、大通り（外苑東・西や新宿通り）を子供が渡って通学していることが多く子供にとって危険である。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
129	7.通学時の安全について	通学距離の長短は子どもの安全も考えて、地図上だけでなく、実際に歩いてみてほしい。愛住町の端と端では、また状況が異なる。
130	8.その他	四谷小学校の児童数増加に伴い、通学区域変更の案が余儀なくされているが、どうしてこうなったのか、四谷小学校を増築する必要があったのか考え直してほしい。
131	8.その他	四谷小学校があまりにも狭く、子どもたちがかわいそう。
132	8.その他	「通学区域検討協議会」は即刻解散すべき。通学区域の変更は問題に対処する手段のひとつに過ぎず、目的化する恐れがある。通学区域の見直しを実行してしまったら四谷の歴史（町内会等に受け継がれた伝統的な歴史や、兄弟姉妹と一緒に通学したりお祭り等に参加したりする中で生まれる歴史）に傷を残す。
133	8.その他	検討協議会の立ち上げ直し、その構成員で新たな検討協議会を立ち上げ、「四谷地区活性化検討協議会」や「四谷地区活性化検討協議会-花園地域(小学校でも可)編」等、地区の結束力を高め、課題の解決につながる名称にする。
134	8.その他	学校に部屋数が足りないのであれば、四谷小学校の改装が終わるまでの間、近くのビルを借り上げて分校をつくり、学期毎にクラスを入れ替え公平性を保ちつつ、校庭や専科室等は共有する等の対応をとってほしい。
135	8.その他	学校に限らず後戻りが出来ないような安易な公共施設の統廃合・土地の用途変更・土地を手放すような事が出来ないような街づくりを進めてほしい。
136	8.その他	説明会を聞いて四谷小学校には行かずと決めた。なぜなら教室が増えても全体の範囲が変わらなければ学童の外遊び活動スペースが減り、使えなはずの図書室が使えなくなる。いろいろな面で圧縮されているように感じた。ネットで調べたところ、四谷小学校のPTAはとても煩雑だと聞いた。
137	8.その他	四谷小学校の児童数は多すぎて、子ども達の学校生活にあらゆる弊害が起きている。学校の規模に人数が全く適正でない。健康診断指定医からも、児童の健康面からも良くない影響が多々あると意見があった。
138	8.その他	元々、四谷第一小学校と四谷第三小学校が合併した時に取り決めた、地域配分が公平で望ましい。従来あった四谷地域の配分に整理し直すことを希望する。
139	8.その他	現在四谷小学校では週1度くらいしか休み時間に校庭が使えず、今年度は工事や校庭縮小で一度もドッチボールをしていない。学校で友達と自由に外遊びを沢山したかしくはないかは中学、高校その後の成長に大きく関わってくると感じている。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る意見募集結果

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
140	8.その他	地域説明会では、高齢者（町会等）の意見に行政が押し切られているように見受けられ、強い違和感を感じた。実質的に利害関係者である保護者の目線が不足している。
141	8.その他	四谷地区の不変なところはここが一番と思っている住民が多いところである。
142	8.その他	宅建業者からみても四谷が嫌で引っ越す方は皆無
143	8.その他	地元の伝統校は地元の子が頑張っているところである。
144	8.その他	四谷四丁目の住民は四谷の自覚はあるが、花園町民でも花園神社の氏子でもない。
145	8.その他	花園小学校は児童数が少ないが、それはそれで目が行き届いて良いと思う。
146	8.その他	教育の立場で話をすると、学年が1クラスだと担任の先生が全ての行事を1人でこなす必要がありとても大変である。複数クラスの場合、役割分担が出来る為に子どもに割ける時間が増える。教員と子どもの為にも花園小学校の児童数を増やす必要があると感じる。
147	8.その他	四谷小学校の人数増加の背景として、通学区域の広さ、新築マンションの増加による子育て世代の増加があると説明を受けたが、それ以外に言語化（顕在化）されていない原因（こだわり）があるのではないかと感じた。
148	8.その他	四谷小学校増築計画時（過去）に通学区域の見直し論議は出なかったのか。元学校施設の復活についての意見もあった。意見募集の説明資料では令和11年度までの予測を立てているが、その後の10年20年というスパンではどうなのか。今後も同種（または真逆）の問題再発することを想定し今回の解決策の中で柔軟に対応するべきである。
149	8.その他	花園小学校が少人数であることに魅力を感じる一方、クラス替えによる人間関係の多様化という話にも魅力を感じた。結果、学年40人程度で2クラスが希望である。
150	8.その他	そもそも三校統合の際に、受け入れ規模や通学距離などの視点でもっと考えていれば、こんなことにならなかったのではないかと感じた。
151	8.その他	少人数での懸念点・デメリットとしてトラブルの時のクラス替えが出来ないことや、友人との付き合いが狭いことはあるが、児童数が多いとトラブルも多い。また友達関係が煮詰まるとの話もあるが、子どもがそこまで考えるのか疑問。親は客観的にそう思っても、実際に子ども自身はクラスの人数が多かれ少かれ、仲良くなる子は限られてくる。